

## 「つながり」を大切にした実践に向けて

全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会

会長 寺崎 晶子

(東京都世田谷区立駒沢小学校長)

新年度が始まりました。年度が変わるこの時期は、子供たちの期待や意欲が高まり、それを受け止める私たちの気持ちも引きしまる思いです。

さて、平成29年度の学校教育がスタートしてはや2ヶ月ほどが経ちました。全国の難聴・言語障害教育に携わる先生方には、新しい子供たちとの出会いがあり、お忙しい日々を送られていることと思います。一人一人の子供たちの健やかな成長のために、どうぞ温かく、きめ細やかな指導をこれからも続けていってください。全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会としましても、皆様のお役に立てるよう、できる限り応援してまいります。

全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会（全難言協）は、昭和46年に設立され、46年たった現在も、全国の先生方の研究や研修への熱い情熱と意欲に支えられ、活動を続けてきている、とても伝統のある研究団体です。

昨年の夏には、第45回の全国大会島根大会が出雲市において開催されました。「子供たちが自分らしく暮らしていくための支援のあり方～子供との日々のかかわりを振

り返ることを通して～」を研究主題に掲げ、島根大会実行委員会の方々を中心に、すばらしい成果をあげることができました。

今年度、平成29年度の全難言協第46回全国大会大阪大会は、7月27日（木）、28日（金）の2日間、大阪府の天満において開催予定です。当日は多くの先生方の参加をお待ちしております。

近年、特別支援教育がたいへん注目されてきています。今まで以上に通常学級との連携・協力を推進し、関係機関とのより密接なネットワークを構築していくことが求められています。全難言協の合い言葉「つながる」「協働」を心に刻みながら、ともに進んで参りましょう。

今年度も、どうぞよろしく願いいたします。